



第 6 圖

してゐることは物理的、化學的、生物學的に興味ある問題を含んでゐる。水平透視度にしても矢張  $M$  が問題である。かうなると何とかして  $M$  を測り、 $M$  を分析しなければいけない事になる。

## 要 報

### 深海魚の漁獲水層と水温

宇 田 道 隆

近年水産試験場では今までの 200m 以浅に於ける沿岸漁場（日本近海で支那東海を除き面積凡そ 15.7 萬平方哩）に對し 200~1000m 深の深海漁場（日本近海で面積凡そ 14.8 萬平方哩）の開発に聯合して力を入れてゐる。

深海漁業は底延繩、一本釣を主要のものとし、底曳網、底刺網等もある。漁撈の成否は海潮流と非常に深い關係を持つてゐるが、その方の研究もまだよく出来てゐないやうである。漁獲水層と水温との關係も誰も調べてゐないから、其の方の參考資料に第 1 圖、第 2 圖を作つて見た。之等の圖に於て、深

海魚漁獲水層の記録は、水産試験場で刊行された水産試験場調査資料第 4 號 pp. 77-81 (昭和 12 年) 及同第 6 號 pp. 1-34 (昭和 14 年) の深海漁業現況調査に據り、水温の記録は昭和 10~16 年の水産試験場、海洋調査要報から各漁場別に、相當する漁期に於ける深層に及ぶ観測値（水産試験場蒼鷹丸観測）を拾ひ出したものである。

第 1 圖をみるとトラとメダカ類は 2~5°C の水温範囲にあり、3°C 前後が多く、水層は 150~1200m で 200~900m に多く、北に浅く南に深い傾向があり房州、相模灣邊が主分

